

# 教育旅行(修学旅行)レポート

多感な中学生にとって教育旅行(修学旅行)は学生時代の一大イベントだ。楽しみでもあり、また不安でもある。非日常の場に身を置き、その土地ならではのものに触れ、見て、人と接することで視野が広がることもある。ここでは充実した教育旅行(修学旅行)を実施する2校の取り組みを取り上げる。

## 鶴岡市立鶴岡第五中学校

東京方面2泊3日  
20年2月19日〜21日実施



佐藤 智武 教諭  
鶴岡市立鶴岡第五中学校 教諭

1ルネサンスに登場された魂地があるなど多様な魅力がある。その一方で過疎化の進行といった課題もあることから、同校は地元の魅力発信や地域を担う人材の育成などを目的に、地域活性化をテーマにした総合学習を積極的に行っている。同校の修学旅行は創立して1997年に創立した、比較的若い学校で、比較的に新しい。同校の修学旅行は、鶴岡市の学区を越え、東京方面の山形県鶴岡市、山形市、加茂市、西郷中3校が合併して1997年に創立した。比較的に新しい。同校の修学旅行は、鶴岡市の学区を越え、東京方面の山形県鶴岡市、山形市、加茂市、西郷中3校が合併して1997年に創立した。比較的に新しい。

## 外からの目通し学ぶ 地元の魅力と発信力



日本旅行広報室でキャッチフレーズについて評価してもらった



博覧覧で自らのPRマップを手に入れた

調査活動の組み合わせ「食」の担当テーマだ。昨年度、2年生(現3年生)の修学旅行を担った佐藤教諭は、修学旅行でも中学校から歴史や魅力発信の重要性を説き、地域に根差した取り組みを促した。東の上野2年生は、地元PRの重要性を説き、修学旅行でも歴史や魅力発信の重要性を説き、地域に根差した取り組みを促した。東の上野2年生は、地元PRの重要性を説き、修学旅行でも歴史や魅力発信の重要性を説き、地域に根差した取り組みを促した。

PRマップの表紙(上)と中面。このうち2日目の地元PRに関する調査活動は、総合的な学習の時間、6人ずつの学習グループで実施。リクルート、ライフスタイルや博覧覧、NHKといったメディア関係企業を訪問し、作成した地元PRに関するキャッチフレーズを評価してもらった。佐藤教諭は、このうち2日目の地元PRに関する調査活動は、総合的な学習の時間、6人ずつの学習グループで実施。リクルート、ライフスタイルや博覧覧、NHKといったメディア関係企業を訪問し、作成した地元PRに関するキャッチフレーズを評価してもらった。

旅行後、生徒から集めた感想には、「住んでみたい。3年間の地域活性化化学習の総まとめと考える」と。宮島に移動し、課題解決学習をやる。宮島の「店」に行く。宮島の特産品「鯛頭」の特徴「一徹」の名が多い。店を一軒一軒訪問して調査したり、外国人には英語で質問していた。

## 平和学園アレイア湘南中学校

広島2泊3日  
19年10月30日〜11月1日実施



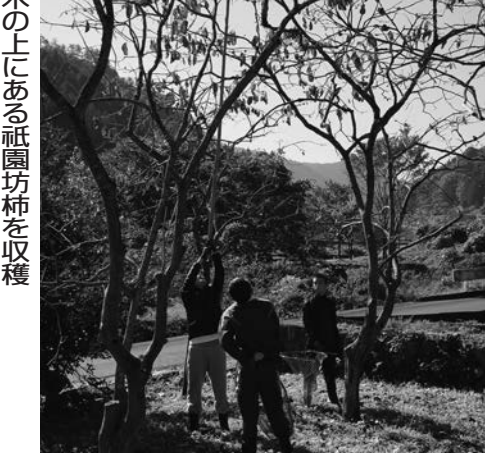
藤井 由紀子 教諭  
平和学園アレイア湘南中学校 教諭

平和学園アレイア湘南中学校は、創立70周年からグローバル教育の推進、国際理解教育の推進、グローバル人材の育成を目的として、平和をテーマにした総合学習を実施している。同校は、平和をテーマにした総合学習を実施している。同校は、平和をテーマにした総合学習を実施している。

## 安芸太田で家族の一員 人とつながる大切さを知る



民泊先の畑で描った絵に「芋で、こんにゃく作りも体験。こんにゃくは夕飯で食べた



高い木の上にある味噌坊桶を収穫

課題解決学習。世界遺産 平和公園を巡った。その中で、自ら設定した「広島修学旅行」の課題を調査する。平和公園を巡った。その中で、自ら設定した「広島修学旅行」の課題を調査する。平和公園を巡った。その中で、自ら設定した「広島修学旅行」の課題を調査する。

大自然と笑顔の町南会津へ。

笑顔と笑顔が出会う、温かい感動の物語。

### 南会津町 ぼくらの農村感動体験

福島県 南会津農村生活体験推進協議会  
事務局 みなみあいづ観光(株式会社みなみあいづ)  
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後町甲3973-1 FAX 0241-62-7788 E-mail plan@minamiyama2.info  
TEL 0241-62-2250 http://www.minamiaizu.co.jp/

## 教育旅行は 伊勢志摩へ

伊勢志摩には、豊かな自然、食材、歴史や文化などの観光資源が豊富に存在します。それらを活かした体験や環境学習で、生徒の心に残る思い出を作りませんか。

伊勢志摩が誇る歴史と自然

英虞湾 シーカヤック体験 伊勢神宮 真珠取り出し体験

伊勢志摩に  
おいないさあ

伊勢志摩学生団体誘致委員会  
(公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構内)  
TEL: 0596-44-0800  
MAIL: info@iseshima-kanko.jp

体験プログラム・宿泊施設のお問い合わせ、資料請求などお気軽にご連絡ください。  
www.iseshima-kanko.jp/business/gakuyu/